

質問事項に対する回答書35

(件名)磐越自動車道 黒森山トンネル工事

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
1	11/22	特記仕様書	42,43	27-19	<p>泥土処理工につきまして、(3)泥土処理には「脱水された泥土を、途中で積み替えを行う場合は、その積み替え位置での積込み、本線外盛土場①まで運搬をするもの。」と記載があります。冬季期間に発生する泥土については坑外仮置き場①または②に仮置きするという認識でよろしいでしょうか。またその場合は坑外仮置き場の①と②のいずれに仮置きをするのか、ご教示願います。</p>	<p>冬季期間に発生する泥土については、坑外仮置き場に仮置きするものとお考えください。</p> <p>また、坑外仮置き場①②のどちらに仮置きするかは、貴社の施工計画に基づきお考えください。</p>
2	11/22	特記仕様書	42,43	27-19	<p>上記質問にて、冬季期間は泥土を坑外仮置き場に仮置きするのであれば、積み替え対象になる土量と直接本線外盛土場①に直接搬出する土量の内訳をご教示願います。</p>	<p>貴社の施工計画に基づきお考えください。</p>
3	11/22	特記仕様書	42	27-18	<p>路盤排水工について、床掘後の残土は現場処理(はねつけ)でよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>特記仕様書27-18のとおり、床掘後の掘削土はトンネル終点側坑口部及び土工部路床に使用するものとお考えください。</p>
4	11/22	設計図(土工)	25/69		<p>補強土壁工に用いる盛土について、積込、運搬、まき出し、敷均し、締固めに要する費用はどの単価項目に含まれているでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>補強土壁工に含んでおります。</p>
5	11/22	設計図(土工)	25/69		<p>補強土壁撤去工で発生する残土について、掘削、積込、運搬に要する費用はどの単価項目に含まれているでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>補強土壁撤去工に含んでおります。</p>
6	11/22	金抜設計書	11		<p>中央排水工につきまして、設計数量が接続管を控除した延長になっていると思われます。「令和6年度版 土木設計数量算出要領」の15-75頁によると、設計数量は接続管を含めた数量になるべきかと思われるのですが、いかがでしょうか。ご確認をお願いいたします。</p>	<p>路盤排水工 中央排水工Bの数量は2456mが正となります。</p> <p>上記については、後日、交付図書を訂正いたします。</p>
7	11/22	金抜設計書	8		<p>項目番号95および96のロックボルトにつきまして、避難連絡坑の設計図からロックボルトの本数を算出すると、設計数量と大きく乖離があると思われます。設計数量のご確認をお願いいたします。</p>	<p>R6.10.18当社HP掲載の「質問に対する回答書9(番号8)」のとおりです。</p>
8	11/22	金抜設計書	11		<p>インバート埋戻し工につきまして、各断面パターン毎の埋戻し断面積をご教示願います。</p>	<p>参考図1～3/21に示す加背割図に基づきお考えください。</p>

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
9	11/22	金抜設計書	11		インバート埋戻し工につきまして、埋戻し材料は購入材で想定されていますでしょうか。またその場合、特記仕様書22頁の19-1に記載されているように再生資材を使用するように認識すればよろしいでしょうか。ご教示願います。	R6.11.20当社HP掲載の「質問に対する回答書28(番号5)」のとおりです。
10	11/22	金抜設計書	11		インバート埋戻し工につきまして、「令和6年度版 土木設計数量算出要領」の15-69頁の通り、設計数量は路盤排水を控除した数量に、積算数量は路盤排水を控除しない数量でよろしいでしょうか。ご教示願います。	そのとおりです。
11	11/22	設計図(トンネル)	83/95		計測工につきまして、特記仕様書68頁の29-1に記載の通り、当初は計測工に係る費用は計上しないということよろしいでしょうか。ご教示願います。	特記仕様書29-1のとおりです。 また、計測工Aについては共通仕様書12-12のとおりです。
12	11/22	特記仕様書	29	27-4(1)	構造物掘削Dにつきまして、この項目の掘削土はダンプトラックによる運搬は行わず、付近に仮置きするという認識でよろしいでしょうか。またブルによる掘削土運搬費用は計上していますでしょうか。ご教示願います。	貴社の施工計画に基づきお考えください。 また、積算に関する質問についてはお答えできませんので、貴社に必要な費用を計上してください。
13	11/22	設計図(トンネル)	31.45/95		トンネル起点側および終点側の坑門工につきまして、掘削および裏込め土の数量算出根拠について、資料を開示いただけませんかでしょうか。	数量計算書の閲覧は行なっておりません。 本工事で必要となる数量等については、設計図書に基づきお考えください。
14	11/22	特記仕様書	49	27-27	工事用道路撤去Aにつきまして、設置時に施工した路盤(t=100,再生砕石)は撤去するのでしょうか。また撤去する場合、撤去した路盤材はどこへ運搬すればよろしいでしょうか。ご教示願います。	特記仕様書27-27(2)のとおり、簡易舗装工のみ撤去するものとお考えください。
15	11/22	特記仕様書	52	27-29	待避所撤去復旧工につきまして、設置時に施工した路盤および凍上抑制層は撤去するのでしょうか。また撤去する場合、撤去した路盤材はどこへ運搬すればよろしいでしょうか。ご教示願います。	特記仕様書27-29(2)及び設計図(土工編)49、50/69のとおり、アスファルト舗装版のみ撤去するものとお考えください。
16	11/22	特記仕様書	57	27-32	工事用道路補修工につきまして、既設表層の撤去後、不陸整正を行うべきかと思われます。不陸整正に関する記載が特記仕様書にありませんが、不陸整正に要する費用は計上していますでしょうか。ご教示願います。	不陸整正に要する費用は含んでおりません。 必要と認められた場合は、別途監督員との協議により定めることとなります。